

平成 2 1 年度小野市当初予算

厳しい経済情勢の下 3年ぶりの「積極型」
“教育、安全・安心、子育て支援、雇用対策に重点”

【主な事業】

- ① 小野中学校の校舎改築
- ② 小学校の耐震改修と市場小学校の大規模改修
- ③ 特別支援学校体育館の新設
- ④ I C T 教育（情報通信機器を用いた教育）の推進
- ⑤ 小野市詩歌文学賞の創設
- ⑥ 安全安心パトロールの拡充（2 台増車：7 台 15 人体制）
- ⑦ 新病院の建設に向けた準備経費
- ⑧ 中学 3 年生までの医療費の完全無料化
- ⑨ 妊婦健診費助成の拡充（健診 14 回分）
- ⑩ 雇用創出事業の実施・支援
- ⑪ 新都市中央線（新病院関連）の整備着手

【コメント】

市税収入は、法人市民税の減少等により 69 億円、対前年度比 6.2%の減。厳しい社会経済情勢のもと、財源不足分として、財政基金を 12 億円取り崩して、教育、安全・安心、子育て支援、雇用対策に重点を置き、対前年度比 1.8%増の 182 億円の積極型予算を編成。

基金残高は、71 億(決算見込)となる。地方債残高は、地方税減収のため臨時財政対策債 6 億円を発行するものの 146 億円と見込み、平成 16 年度のピーク時(177 億円)から 5 年連続の減少となる。